※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3038 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　古典探究」（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 『完全マスター古典文法』（第一学習社）<br>『新明説漢文』（尚文出版）<br>『理解を深める　核心古文単語 351』（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典文法や漢文の句法など、１年次に身に着けた古典の基礎を活かしながら、古典を読めるようになりましょう。
・古典の基礎を身に着けるためには、音読が不可欠です。
・授業では、課題に対して話し合いや文章記述など、自分自身の思いや考えを他者と共有したり、複数人で解答を考えたりする協働学習を行います。積極的な参加を心がけてください。
・提出物の期限を守り、予習、復習、試験勉強などは計画を立てて臨むようにしましょう。

## ２　学習の到達目標

・音読を通して, 多くの文章が暗唱できる。
・古典に用いられている語句の意味, 用法及び文の構造を理解する。
・構成や展開を的確に捉え, 人間, 社会, 自然などに対する思想や感情を理解し, ものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする。
・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい, 作品の価値について考察する。
・古典を読んで, 日本文化の特質や中国の文化との関係について理解する。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。 | 「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 本文に示された教訓について話し合う。<br>［教材］説話/大江山（十訓抄） | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。［A⑴ウ］<br>c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 登場人物の生き方について評価し話し合う。<br>［教材］説話/兼盛と忠見（沙石集） | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。［A⑴カ］<br>c：登場人物の生き方について話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 「音読みによる直読」「文語文による訓読」「口語訳」の朗読を比較して、朗読から受ける印象の違いを話し合う。<br>［教材］故事/買履忘度、漱石枕流、華歆・王朗 | a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。［⑵ウ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。［A⑴ク］<br>c：朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 作者の心情を説明する。<br>［教材］日記文学㈠/東路の道の果て（更級日記） | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］<br>c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 道家の思想が後世の文章に与えた影響を考察する。<br>［教材］文章/桃花源記 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。［A⑴エ］<br>c：道家思想の影響について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 登場人物の心情と人物像について話し合う。<br>［教材］物語/光源氏誕生（源氏物語）、小柴垣のもと（源氏物語） | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。［A⑴オ］<br>c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 劉邦が鴻門から脱出することができた理由を考えて話し合う。<br>［教材］史伝/鴻門之会 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］<br>c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 登場人物の行動や心情を説明する。<br>［教材］随筆㈠/大納言殿参り給ひて（枕草子） | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］<br>c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 項羽が江東に帰らなかった理由を考えて話し合う。<br>［教材］史伝/項王自刎 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］<br>c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 3 | 登場人物の行動と人物像について考察する。<br>［教材］歴史物語/花山天皇の出家（大鏡） | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］<br>c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察する<br>［教材］思想/孟子、荀子、老子、荘子 | a：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。［⑵エ］<br>b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。［A⑴オ］<br>c：諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　130　）時間